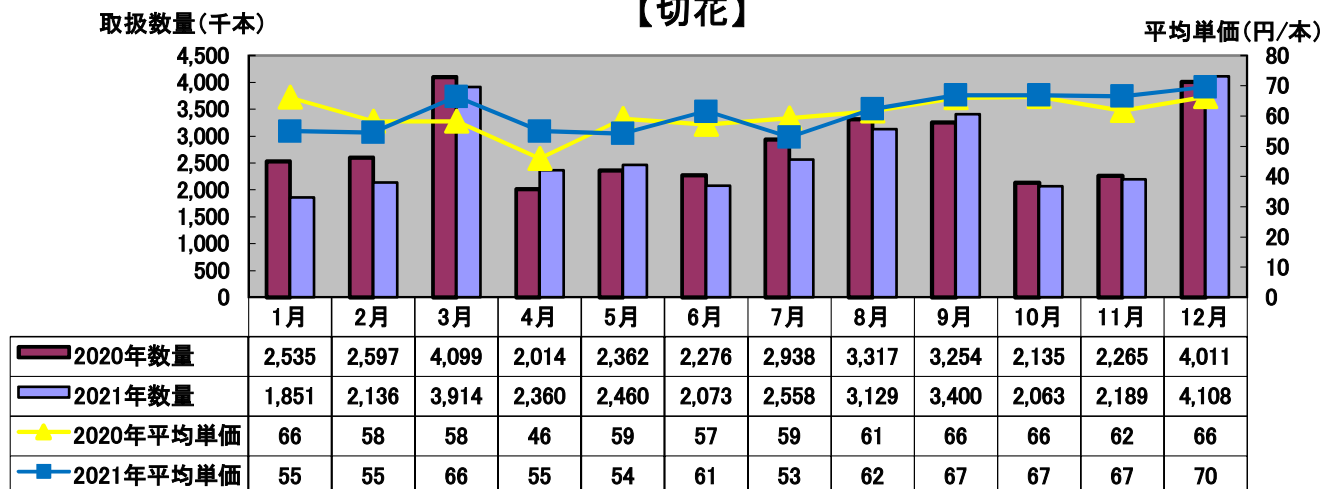


令和3年(2021年)12月 花き部 種類別市況

【切花】



...市況の概況...

12月の切花類は、入荷量は全体的にやや増加しました。
洋花類を中心に需要が高く、平均単価はやや高く推移しました。

...主要品目の市況の概況...

キクは、愛知県、沖縄県が主要産地です。作柄が良く入荷量はやや増加しました。

平均単価は前年並みで推移しました。

小菊は、沖縄県が主要産地です。作柄が良く入荷量は前年並みで推移しました。

平均単価は安く推移しました。

バラは、愛知県、神奈川県、岡山県が主要産地です。作柄が良く入荷量は増加しました。

ギフト用等の需要が高く、相場が強含みで推移したため、平均単価はやや高く推移しました。

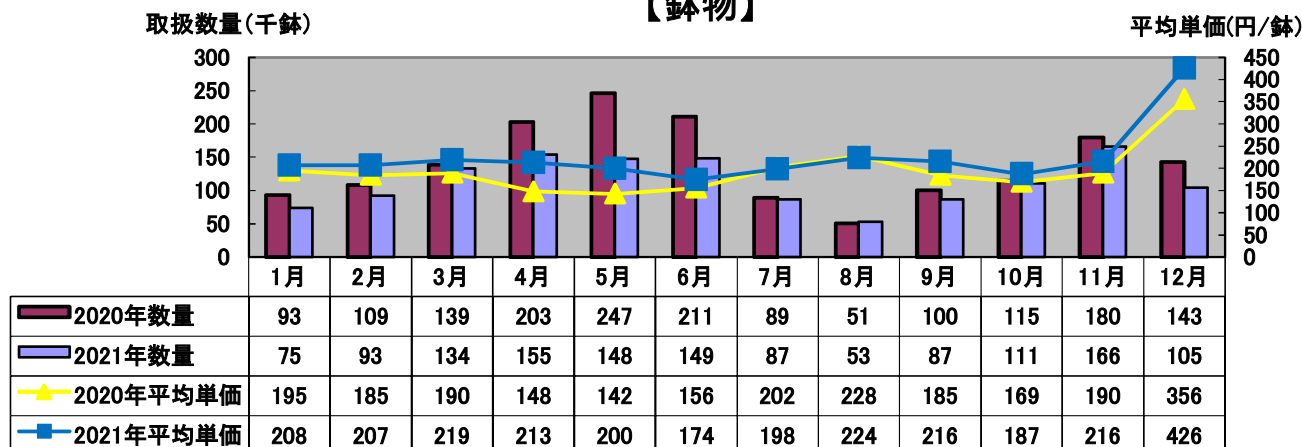
カーネーションは、千葉県、コロンビアが主要産地です。作柄が良く入荷量は増加しました。

ギフト用等の需要が高く、相場が強含みで推移したため、平均単価は高く推移しました。

かすみ草は、熊本県・和歌山県が主要産地です。入荷量はやや増加しました。

ギフト用等の需要が高く、相場が強含みで推移したため、平均単価は高く推移しました。

【鉢物】



...市況の概況...

12月の鉢物類は気温が大幅に低くなり、シクラメンが早めに終了するなど、入荷量はかなり減少しました。
平均単価は高く推移しました。

...主要品目の市況の概況...

シクラメンは、神奈川県、愛知県が主要産地です。前進傾向の出荷となり、入荷量はかなり減少しました。

平均単価はやや高く推移しました。